

保険給付費は減少 しかし納付金(前期高齢者納付金)が大幅に増加 経常収支で赤字の決算に

令和6年度の事業報告および収支決算報告が、7月2日に開催された第87回組合において承認されました。

健康保険組合連合会(以下、健保連)が公表した「令和7年度健康保険組合予算編成状況―予算早期集計結果について―」によると、令和7年度は経常収支が赤字予算編成となった健保組合が全体の約8割にのぼることがわかりました。

団塊の世代が75歳以上となる令和7年度以降も65歳以上人口は増加し、高齢者拠出金は増え続ける一方、現役世代の減少は続くため、拠出金の負担増は必至であり、今後も財政悪化が懸念されます。政府がまとめた「全世代型社会保障構築を目指す改革工程」においては、「給付は高齢者中心、負担は現役世代中心となっているこれまでの社会保障の構造を見直していく必要がある」と明記されています。大切な健康保険制度を持続可能なものとするために、工程の着実な取り組みが求められています。

※令和7年3月31日時点に報告があった1368組合の予算数値をもとに、7年4月1日時点に存在する1372組合の財政状況を推計。

健康保険(一般勘定)

当健保組合の令和6年度決算状況につきましては、経常収支で赤字となりました。

収入面では、健康保険収入は前年度より1781万5千円多い2億3998万8千円でした。被保険者は前年度よりも減少しましたが、保険料率の引上げ及び平均標準報酬月額と総標準賞与額が増えた結果、増額となりました。また、支出に対して不足する収入額を補うために、積立金を取り崩して8000万円を繰り入れました。支出面については、皆さんの医療費や一時金などに充てられる保険給付費は、前年度より1284万円少ない1億143万3千円でした。

しかし高齢者医療制度を支える財源として負担している納付金は、前期高齢者納付金が大幅に増加したこと、前年度より5414万3千円多い1億3298万7千円でした。

保健事業費には1273万4千円を執行して、特定健診・特定保健指導などの各種保健事業を実施しました。

以上の結果、令和6年度決算も経常収支で赤字となりました。

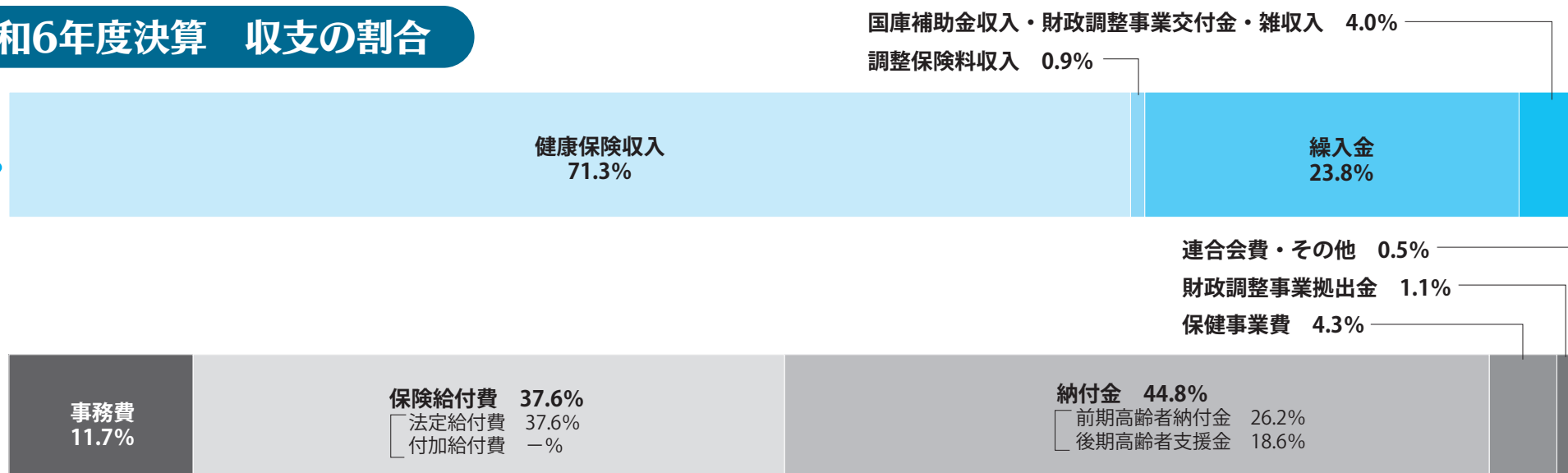
皆さんにおかれましては、引き続き健康的な生活習慣を心がけるなど、健康管理に取り組んでくださいますようお願いを申し上げます。

介護保険(介護勘定)

介護勘定の収入支出決算は、収入2656万3千円、支出2386万6千円、差引額は269万7千円でした。

令和6年度決算 収支の割合

収入



支出

令和6年度 収入支出の決算概要

一般勘定

●収入

科 目	決算額
健康保険収入	2億3,998万8千円
調整保険料収入	316万円
繰入金	8,000万円
国庫補助金収入	793万4千円
出産育児交付金	19万1千円
財政調整事業交付金	50万2千円
雑収入	479万2千円
合 計	3億3,656万7千円
経常収入合計	2億4,504万6千円

●支出

科 目	決算額
事務費	3,466万4千円
保険給付費	1億1,143万3千円
法定給付費	1億1,136万1千円
付加給付費	7万2千円
納付金	1億3,298万7千円
前期高齢者納付金	7,783万3千円
後期高齢者支援金	5,515万4千円
退職者給付拠出金	0円
保健事業費	1,273万4千円
財政調整事業拠出金	316万円
連合会費	46万8千円
積立金	102万円
雑支出	5万円
合 計	2億9,651万6千円
経常支出合計	2億9,335万6千円

収支差引額	4,005万1千円
経常収支差引額	△4,831万円

介護勘定

●収入

科 目	決算額
介護保険収入	2,654万5千円
雑収入	1万8千円
収入合計	2,656万3千円

●支出

科 目	決算額
介護納付金	2,386万6千円
支出合計	2,386万6千円